

大庭小だより

NO. 5

2025年9月1日

校長 澤野 美奈子

ホームページ URL <http://www.1.fujisawa-kng.ed.jp/eohba>

失敗 OK！チャレンジ大歓迎！！

2学期が始まり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。どんな夏休みを過ごされたのでしょうか。私が子どもの頃は、日が沈む頃まで外で汗だくになって遊んでいました。酷暑が続く中、今では考えられません。2学期の始まりは夏の終わりの寂しさ、でも友だちに会えるうれしさもあったりして、複雑な気持ちで迎えたものでした。

1学期の終業式では、子どもたちに目標をもって生活することの大切さについて話をしました。子ども一人ひとりが目標を設定してそれを実現するために、私たち大人ができることは何でしょうか。それは、子どもが自分の意見や考えを表明しても、否定されたり排除されたりしないで受け止めてもらえる、という安心感を持たせることだと思います。子どもたちが自分のよさ(強み)を見つけ、さらに「こんな自分になりたい」「こんなことができるようになりたい」という目標を持てる学級、学年、学校、そして家庭を作ることが、私たち大人に求められているのではないのでしょうか。



そこで始業式では、「失敗 OK」「チャレンジ大歓迎」という話をしました。失敗を恐れずにチャレンジすることは、たとえうまくいなくても、いつか「経験」という自分の大きな強みになること。もちろんチャレンジ成功は自信につながり、もっと自分を好きになれること。そして、その発信やチャレンジを先生達は丁寧に受け止めるよ、という内容です。「間違えてもいい」「わからなくてもいい」という安心感が、子どもたちの豊かな学びへの意欲につながることを願っています。

話は変わりますが、7月30日に発令された津波警報には大変驚かされました。避難勧告が各地で出され、藤沢市内でも南部の小中学校には、多くの近隣住民や海水浴客が避難したと聞いています。本校については、避難しに来られた方は一人もいませんでした。日本各地で地震や豪雨による河川の氾濫等で大きな被害が出ています。今回の件で、改めて災害に対する日頃の備えの大切さを身にしみて感じました。津波警報発令の数日前に、本校の避難所運営委員会が開かれたばかりでした。学校でも防災マニュアルを読み返すなどして、有事の際の確認を行っています。ご家庭でも、もしもの時にどのように行動するよいか、今一度ご確認ください。

学校教育目標

～「心豊かな子」を育てることを目指して～

- ねばり強く考える子 (創造性・創意工夫・ねばり強さ)
- 自分から進んで行動する子 (自主性・思いやり・助け合い)
- からだをじょうぶにする子 (心身の健康)



【お知らせとお願い】



○運動会（大庭っ子オリンピック改め）について

今年度の運動会は11月1日（土）午前日課（お弁当なし）で行う予定です。コロナ禍から「大庭っ子オリンピック」と称して、内容を精選しながら新しい運動会の形を作ってまいりました。今年度から名称を「運動会」に戻して実施します。多くの方の参観をお待ちしています。詳細につきましては、後日お知らせいたします。

○熱中症警戒アラート発令時の過ごし方について

9月以降も酷暑が続き、熱中症警戒アラートが発令されることが予想されます。1学期から授業中にアラートが発令された場合は、外での活動を中止して校内で過ごすよう指導してきました。アラートの発令が子どもたちにもわかるように、中庭に赤い旗を立てています。

放課後についても、アラート発令時は外での活動を控えるよう指導してまいります。（下校時に、南北の昇降口から見えるところに赤い旗を設置します。）

子どもたちが安心安全な過ごし方を自分で考え、自分の身を守る行動が取れるように、ご家庭でもぜひお子さんと話し合ってみてください。



○災害への備えについて

7月26日に、本校において「大庭小学校避難所運営委員会及び避難所開設訓練」が記載されました。各自治体の代表の方（避難場運営委員）や市の職員（避難所従事職員）、本校管理職（施設管理者）が参加し、避難所運営マニュアルに沿って開設手順を確認したり、施設内見学（防災備蓄倉庫、マンホールトイレ、電話機設置場所、体育館など）をしたりしました。その後実際に避難所となる体育館で、厚紙製のポールを骨組みにして布で目隠しをした、居住スペースを組み立ててみました。委員の皆様の協力で、速やかにスペースを区切ることができました。しかし、実際に地震が発生したら、けが人が出たりパニック状態になったりする人がいるかもしれません。優先順位を考えながら、落ち着いて人々の安全を守る体制を組む必要を感じました。

災害は地震だけではなくありません。これから台風の本格的なシーズンを迎えます。5月に配付しました「非常災害が発生した場合の対策」を今一度ご確認くださいなど、災害についての備えをお願いします。

○児童に関する相談について

夏休み明けの9月は、子どもが不安定になることが多いと言われています。お子さんのことで心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく、学校へご相談ください。SC（スクールカウンセラー）の面談も行っております。

オンラインゲーム上には、 こどもに迫る 犯罪者がいます!!

こどもたちが普段遊んでいる「オンラインゲーム」には、
「**犯罪に巻き込まれる**」きっかけとなるリスクがあります。

保護者等の皆様に知っていただきたいこと

リスク①

小学生などの**年少者も**
被害に遭っている!



リスク②

ゲームの上級者に対する
「**憧れ**」の感情を利用される!



リスク③

協力してゲームを行うことを
通じて、**見知らぬ者にも**
「**仲間意識**」を持ちやすい!



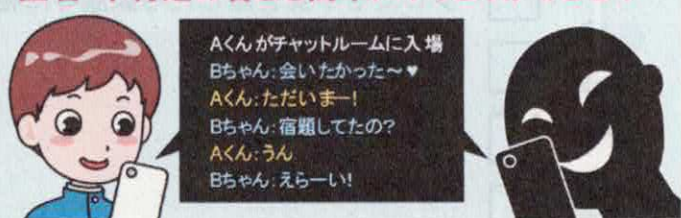
リスク④

「**高価なアイテムをあげる**」といった**甘い言葉**に
乗せられ、言うことに従ってしまう!



リスク⑤

ほとんどのゲームに「**ボイスチャット**」や
「**メッセージ交換**」の機能が備わっており、
匿名・不特定の者とも簡単にやりとりができる!



「**フィルタリング**※」や「**ペアレンタルコントロール**※」を活用しましょう! 【保護者等向け】

警察庁
Webサイト



文部科学省
You Tube サイト



こども家庭庁
Webサイト



※「フィルタリング」や「ペアレンタルコントロール」の設定方法は、機器等のマニュアルを御確認下さい。

ウラ面を使って、こどもと話し合ってみてください



オンラインゲームについて 家族等と話し合しましょう！

実際にこんなことが起きています！

事例1

あこがれたゲームプレイヤーとボイスチャットを通じて仲良くなったが、はだかの写真を送るように言われて送ってしまった。

事例2

高価な「アイテム」をプレゼントしてくれる人と仲良くなったところ、その人の家に来るように誘われ、抱きつかれたり、からだを触られたりした。



チャットで仲良くなり...

トークルーム

●●: さっきのプレイ最高だった!
C子: ありがとう!
●●: また一緒にチーム組もうね!
C子: いいね!



「会おう」と言われて...



大変なことに!!



家族等で決めたルールを書きおきましょう！

※ 決めたルールの左側に☑を入れましょう。

- ペアレンタルコントロール（家族等による管理機能）の設定レベルを決める。
- ゲームの機能を使って、個人情報（住所、氏名、学校名など）や不適切なメッセージ（悪口、いやらしい言葉など）を他人に送らない。
- 家族等に相談せずに、ゲーム内で知り合った人と連絡先を交換したり、実際に会ったりしない。
- ゲームで「アイテム」をもらうときは、必ず家族等に相談する。
- 少しでも不安を感じたら家族等に相談する。
-
-
-

ルールを守れなかった場合は、
改めてルールについて話し合しましょう

例...「ペアレンタルコントロールの設定レベルを上げる」、
「家族等に相談せずに連絡先を交換した相手とは連絡を
とらない」など

おかしいと思うことがあれば、
ためらわず警察に相談して下さい!!

藤沢北警察署 ☎0466-45-0110